

ジュニアリーダー・シニアリーダー合同研修会

= 報告書 =

期日: 昭和56年10月17日(土)~18日(日)
1泊2日

会場: 神奈川県立藤原台青少年の家

港北区藤原台町6の16

TEL 045(433)6716

主催: 横浜市子供会連絡協議会

参加者: 44人 8区

〈プログラム〉

	10月17日(土) 第1日目	10月18日(日) 第2日目
AM 6:00		起床・洗面・清掃・朝のどい
7:00		朝食
8:00		全体会議(横浜市の現状)
9:00		分科会
10:00		今後の横浜の活躍を どうするか
11:00		
12:00		全体会議
1:00		昼食
2:00		実技 レクダンス
3:00		反省会
4:00	後付・身の整理 閉会式・オリエンテーション	清掃 閉会式
5:00	交歓	解散
6:00	講義	
7:00	夕食	
8:00	全体会議 趣意説明	
9:00	分科会・自己紹介 情報交換	
10:00	就寝準備	
	就寝・消灯	

〈趣旨〉

現在横浜市では各区独自にミニアーリー・ゲータースクラブが発生し、名称・形態・位置などは、それぞれ異なっています。この上、活動内容においても、横浜市としての一貫性がない。各区同士の横のつながりがあらず、この面においての横浜市は他都市に比べ、非常に乏しいのが現状です。

(1)

この研修会は、互いの区メンバーと交流することによ
横浜としての「わ、を広げ、各区の活動内容を更
発展を図り、横浜市としての「よこのつばうり」を作る
ための第1歩として開催されます。

〈開会式〉 16:00~16:30 ホール

晴天のため 時間通り開会できました。初めに 市子連からの
あいさつ、そして、会館職員のアいさつがあり、この会館にきたら元気
よく、精一杯研修するように、お言葉をいただきました。
研修には、またお互いの顔を知りたいので、ときどき静かに進
行していました。

〈交歓〉 16:30~17:30 「横浜のわ、をひろげよう!!

「中間作り」をテーマにして、楽しく名前と顔を知るとい
う意気だゲーム・ソング開始です。

☆Sプログラム

1. 自己紹介ゲーム
2. じゃんけん大将
3. フルーツバスケット
4. マルマルマール
5. ラーメン屋さんのお店
6. ナンバー コール
7. ハビの夜あき
8. しりとり歌合戦

区どうして、かたまることなく、ほごやかなムードで遠み研修生
からの突然のゲームリクエスト(フルーツバスケットなど)をして、ハビの
夜あきはどほ、ぼつぐんの人気でした。

(2)

〈講義〉 多供会とJL 17:30~18:30 瑞穂先生

〈先生の考えられる多供会〉

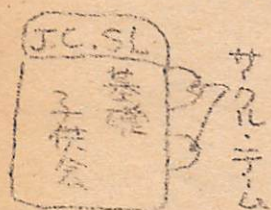
- ・多供会っていいものです。そして文脈が豊かです。
- ・地域を基に作られている。そこが豊かです。(海外の英国、ポーランド)
- ・もと自分たちで地域のつながりを大切に考えたらより良くなると思う。

◎さてそんな中で現代の多供会の位置をどう見る多供会は... どのような形かという

〈現代の子供〉

- ・孤独 — 友がいないう。心の友がいないう
- ・敏感 — 受難・塾 (勉強や集中弱とストレスがたまり自律不全になる)
- ・自己中心 — 幼児的になっしまう。
- ・物質主義 — 人の心より物が重視される。

※このように子供が困っていると言われている。



多供会 は地域が基礎 ← それほ豊かであり強み (地域に愛着)

↓ 地域をレベルアップして行ける。

- ☆ 多供会の中から新しいサークルが産まれる
- ☆ そして又多供会にもどって来る。

※つまりベースとなるものが多供会である。そしてそのベースが地域であるが、多供会にしっかりしたものがなければ活動できない。そこで担い手が必要になってくる。(成人・JL・SL等)

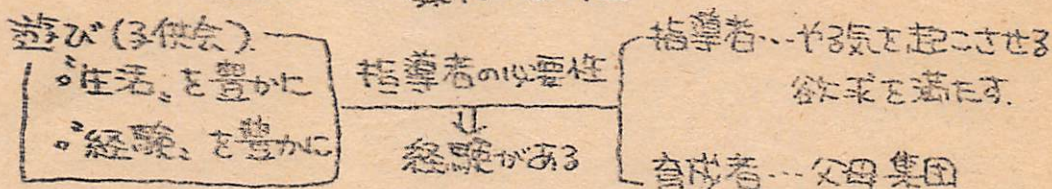
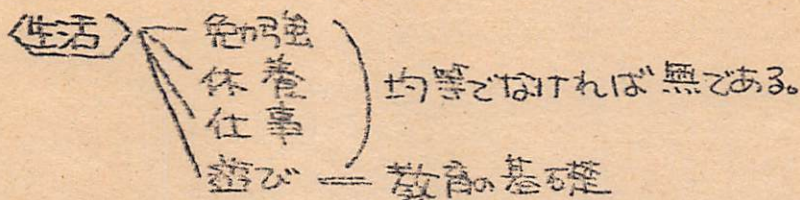
〈新しい道への出発〉

・真なるものの成長

学習・経験 (新しい物への興味)

知識・技術も覚える。

- ・ただ覚えるのでは無く、まじりあうこと。納得して自分の中で消化し、始めて学習になり知識・技術になる
- ・生活そのものの中で経験し、活用していく。使えない知識、それが大である。その上での学びは豊かに感じ



指導者 一指を指示し導き、おろ者

冬ああやうかばーと子供が思うように導く

- ・無理であつてはほらない
- ・欲求をたくさんみたせる人
- ・決めたら実行する
- ・うそはつかない!!

集団機能)

1. 目的、目標達成
2. 集団維持

- ・1がないと会がばらばらになる
- ・2がないと、目的がないので会の方向性がバラバラ

「皆さんが、横浜の各区で、それぞれの活動にほげんで下さい」

以上が増井先生のお話でした。

<夕食> 18:30 ~ 19:30.

班別での夕食です。

一番うるさいのは... 色の人かしらね
とにかく、にぎやかに一時を過ごしました。

メニュー カツ定食です。

〈研修会の趣旨説明〉 19:30 ~ 20:00

吉田さんによる説明です。

- ・横浜の横のつながりを持ちたい (サークル、クラブ、協議会)
- ・参加者同志の連絡が可能になる。
- ・各区足並みもそろえる レベルアップを合わせる
- ・横浜全体のリーダーを知ることにより 活動の原動力(心)となる。
- ・各区の現諸問題の解決
- ・2年後の未来都市において横浜のまとまりを作り上げる
- ・市子連にJ.L.Cの活動経験者をおい込む。市子連に若い風(考え)を吹きこむ
- ・他都市についての比較思考を行いたい。

以上を解決するための一歩として研修会を開催しました。

※自分で何かを学びとろう!!

※自分で「何か」で、何かを作り出してほしい。

〈分科会〉 20:00 ~ 21:30 “お互いを知ろう!!”

- ・1班9人程度で5班に分れて、お互いを知るという目的で自己紹介や、情報交換などを行った。

〈消灯〉 22:00

But? このあと、どうしても話し直したい人は、J.L.Cに申し込めば話し合いのみをF2の会キ室を静かに行いました。内容としては分科会のつづきの話題が多かったです。

〈完全就寝〉 24:00

<起床> 6:00

お目覚めの曲はイルカのフクロ-ミー、でした。
 昨日の天気予報では、今日は雨でした。でも快晴です。
 今日一日、きっとすばらしくなるぞ〜ん ぞんはスタートでした。

<朝のつとめ> 6:20

玄関前に集合をして、出口までのリフトで障害物マラソン。
 階段を走り下り、フランクをジグザグした。丸いジャンクワシジムをいじると
 まわって、ゆわカ15cm幅の上をトコトコ歩いて、おべり台をスタート
 して、えーと、たいに橋をトントコヨイショ。朝から、びびく痛めました。

このあと、班長のあいさつかありました。

そうじ分担	
玄関	3
F2,3うた	2
階段	1
F1うた	5
ホール	4

"生活はきちんとして"

"いつもニコニコ5分お."

おめいおめいお
 操さんおめいお
 Song (おめいおめいお)
 Song (おめいおめいお)
 親指おめいお
 1-2-3-4, 1-2-3-4

<朝食> 7:00 ~ 8:00

パンと牛乳とサウダ:

<全体会議> ー 横浜の現状説明 ー 8:00 ~ 8:50

横浜の現状

お話し下羽伸一 (市子連)
 shimoba

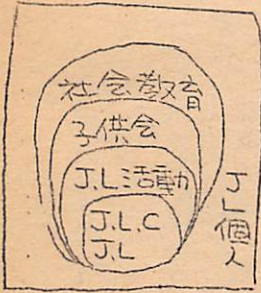
の形態.

各区、活動がバラバラである。中身が同じである、
 市としての統一性がない。

子供会、て何だぞ?

D説 学校のようにタテのつながりを持ちながら、地域に
 根づいた集団、仲間のお会、そして、その中にリ-タンカ
 いる

皆は、子供会の内ではなくて、その周囲関係を知らずして
 J.L.C. J.L.として活動して行く上で、自分達のまわり
 (基となる所だけでなく) せめて子供会までは理解してほしい。



子供会は、ただ独自で活動しているのではなく、教会教育の一部としての活動でもある。

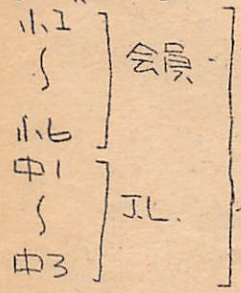


さて各単位会は、区子連の中にあり、市、県、全国とつながりを持っている。

子供会についての共通理解 (子供会とは) 全子連

- ★ 仲間と活動を共有することによって、その子その子が参加している集団のより望ましい意図したコミュニティー活動である地域を基盤とし、仲間集団の持つ形成力と活動(経験)を通しての成長を統合し、よりたくましい子供、子供集団を実現しようとする活動です。
- ★ 家庭学校では与えることが困難な、しかし子供たちの発達にとって、不可欠な経験を与えることを目的としており、家庭、学校はもとより、地域の諸機関諸団体と強い連携を保ちながら活動を進めてゆくことが大切です。
- ★ 子供会は、小学1年～中学3年までを子供会々員ととらえています。
- ★ 子供会活動の中で、係活動、班活動は大切です。そして、行うことか必要ととらえています。

では横断は...



--- 子供会

- ・PTA 学校子供会
- ・町内自治会子供会
- ・施設子供会

要素が強い
移りつある
望ましい子供会

→ 全子連という子供会々員

J.L.
全子連ではJ.L.を
高校生以上と考えている

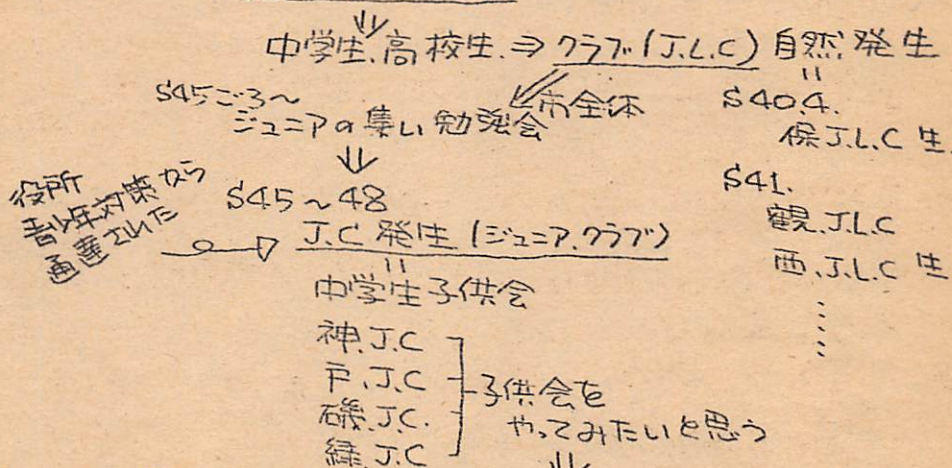
J.L.C.

- 子供会活動の中で、判断力等を与えた高校生。
- 単位会に所属して、班に入っていることが望ましい
- 育成者の手伝いではなく、独自の活動(指導・役割)をするべきである。

一 横浜の子供会活動

J.L.Cとは代名詞である。-----ある立場・役割・活動 (20年前)

子供会 青少年団体の指導の研修会が始められた。



「どうですか、10年も前から横浜の子供会で集まりたいと思ってきました。今こそ、その実現させたいものです。どう思いませんか？」 day 出口。

J.L.C

下ヨヨ
 した、は
 なは
 だーだー
 したはは
 しは

子供会もこのイベントです。1つのことをしているな解かあります。今日は、その漢字の部分をお話しました。

<分科会> 8:30 ~ 11:30

“今後の構想の活動をどうするか”
高夜生は3班に大学生以上は1班で、今後の活動について
話し合い話し合った。

<全体会> 11:30 ~ 12:30

分科会で話し合ったことを発表しました。

- 1班. 結果を出すよりも話し合っただけでいい。
 ◎ 各区の情報網を作ることか今一番大切では
 ・各区の現状を理解する。 ないか、
 ・(区内にどこにも、ているとわねらない)
 ・先には良い点は自分の区に吸収し、悪い点は直して
ゆきたい。

2班. 各区の向題点を話し合う。

- ・子供会との交流が、なく、ジュニア向けのけいこうが強い
- ・OUTリーダ-的な活動が、さかん
- ・INリーダ-が、さかんにな、て来ているので、独自の活動が
うけい、て来ている。
- ◎ 横のつながりを作る。(情報交換の場をもつ)

◎ J.L.が市として統一LT=テーマをも、つ養成研を興く

3班. 各区の活動内容を話し合う

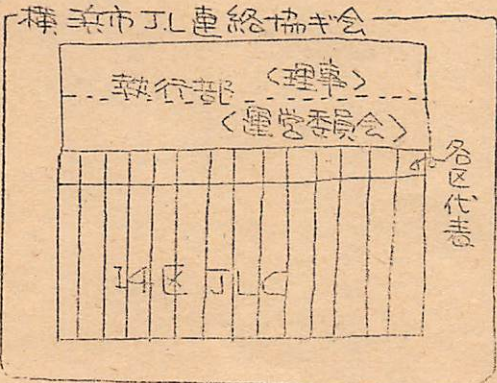
J.L.もSLも構想をまとめるという気を持つ。

他の区を見学に行く

他の区と合わせてしてなる。

3班5班

市3連指導部



マシ、クで、てまとめた。
14本のマシ、クは、た、でも
色も、違い、ます、か、(本来の
目的は、同じ、です、この、太
さ、か、色、を、さ、る、こと、か
今、必要、です、(14本の
マシ、クは、各区、J.L.C.を
さ、す)

対象: 高夜生以上 (各区のJ.L.C.を、及、ば、必然、的に
横浜市J.L.C.に、なる)

運営委員会では、JLCの企画運営を行う。
5年後10年後には、(専門的な)研究活動も進めたい

<昼食> 12:00 ~ 1:15

<レクダンス> 1:15 ~ 2:00

戸塚の片柳さんと鶴の出口さんのリードでした。

おさなはじみ
OH ミステリー
マイク・マイク
の3つを行いました。楽しくて、汗をぬいて、喋って...
ア、という箇の45分でした。

<反省会> 2:00 ~ 3:00 -

レクダンスのあとのため、ちよと痕山に様子でした。
だいたいまとめてみますと..

- ・時間ロスが多かった。
- ・仲間作りの点で区ごとにかたまってしまう残念だった。
- ・生活面を通して、集団の中での本能的なことを求めている
自分かリーダーであることに誓った。
- ・他区にJLC (JIC) があることを始めて知った。はげしいな。
- ・7区だけの参加だが今度是非14区にしたい。
- ・私たち参加者の区代表なら、芝山むりの態度を
仲内に求めている。
- ・他区の状態を知れた。どこでも同じ悩みを共有してほしい。
- ・横浜には市のJLCがやはり中心だと思った。
- ・横浜のJLCと昔々を聞いて、雰囲気かつた。
- ・「—————」あー歴史がある横浜は恵まれて
いるかと思えた。
- ・今度だけにはならぬようにしたい。

<閉会式> 3:30 ~ 4:00

また合おう、心をつなごう、こねてワンステップでいって、なんぼ
ろう、と、心に強く願う。閉会となりおしま。

横浜の"わ"を広げよう。

フリガナ 横濱区 J.L.C

氏名 Toko

S57.2.6.発行
文庫 記録係